

第 1 2 7 回(令和 3 年 1 2 月)情報処理技能検定試験(データベース) 4 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB4 フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は 2 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品 C O	長整数型	11
	商品名	テキスト型	食パン
	単価	長整数型	200

発注テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	発注 C O	長整数型	101
	商品 C O	長整数型	14
	数量	長整数型	23

※商品マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

<処理条件>

数量が 4 0 以上の発注一覧表を作成する。

- それぞれの商品 C O を関連付けしなさい。

<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。

数量が 40 以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：6 件]

- 表を作成しなさい。

表題は“発注一覧表（数量 4 0 以上）”とする。

データの並び順は数量の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

発注一覧表（数量 4 0 以上）				
発注 C O	商品 C O	商品名	単価	数量
126	12	七味トウガラシ	150	48
		}		
115	41	タマネギ	210	40

第127回(令和3年12月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語ソフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

セミナーマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	セミナーCO	長整数型	11
	セミナー名	テキスト型	文章力養成
	講師CO	長整数型	1

※セミナーマスタ.csvの1行目は項目名とする。

講師マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	講師CO	長整数型	1
	講師名	テキスト型	飯沼 満

※講師マスタ.csvの1行目は項目名とする。

申込テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	申込CO	長整数型	101
	申込日	日付/時刻型	2021/10/1
	受講者名	テキスト型	石垣 伸一
	セミナーCO	長整数型	23

<処理条件>

講師別の受講者数一覧表を作成する。

- それぞれのセミナーCO・講師COを関連付けしなさい。
講師CO・講師名ごとに申込COを集計（カウント）しなさい。
申込COの集計は“受講者数”とする。
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。
表題は“講師別受講者数一覧表”とする。
データの並び順は受講者数の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

講師別受講者数一覧表		
講師CO	講師名	受講者数
5	加藤 政治	95
	}	
3	石川 宗男	35

第 1 2 7 回(令和 3 年 1 2 月)情報処理技能検定試験(データベース) 2 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB2 フォルダ内でのデータを使用する。
- 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品 C O	長整数型	101
	商品名	テキスト型	プリン
	単価	長整数型	300
	仕入先 C O	長整数型	6

※商品マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

仕入先マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	仕入先 C O	長整数型	1
	仕入先名	テキスト型	万世堂
	担当者名	テキスト型	首藤 耕大

※仕入先マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

仕入テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品 C O	長整数型	101
○	仕入日	日付/時刻型	2021/4/9
	数量	長整数型	30

<処理条件>

- 2 0 2 1 年 1 0 月 1 日より前のレコードを削除し、仕入額合計が 8 万円以上の商品別仕入額合計一覧表を作成する。
- <仕入テーブル>の仕入日が 2021/10/1 より前のレコードをすべて削除しなさい。
[削除件数：1 9 5 件]
- それぞれの商品 C O・仕入先 C O を関連付けしなさい。
商品 C O・仕入日ごとに仕入額を求めなさい。
仕入額 = 単価 × 数量
[処理結果件数：7 2 件]
- 商品 C O・商品名・仕入先名ごとに仕入額を集計（合計）しなさい。
仕入額の集計は“仕入額合計”とする。
仕入額合計が 80,000 以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：5 件]
- 表を作成しなさい。
表題は“商品別仕入額合計一覧表（8 万円以上）”とする。
データの並び順は仕入額合計の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

商品別仕入額合計一覧表（8 万円以上）			
商品 C O	商品名	仕入先名	仕入額合計
114	さぶれ	万世堂	80,000
	}		
102	ナッツパイ	相山製菓	147,600

第127回(令和3年12月)情報処理技能検定試験(データベース)1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
	顧客名	テキスト型	エーワン
	割引率	倍精度浮動小数点型	0.1

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	101
	商品名	テキスト型	スコーン
	単価	長整数型	90
	区分CO	長整数型	2

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

区分マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分CO	長整数型	1
	区分	テキスト型	ケーキ

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

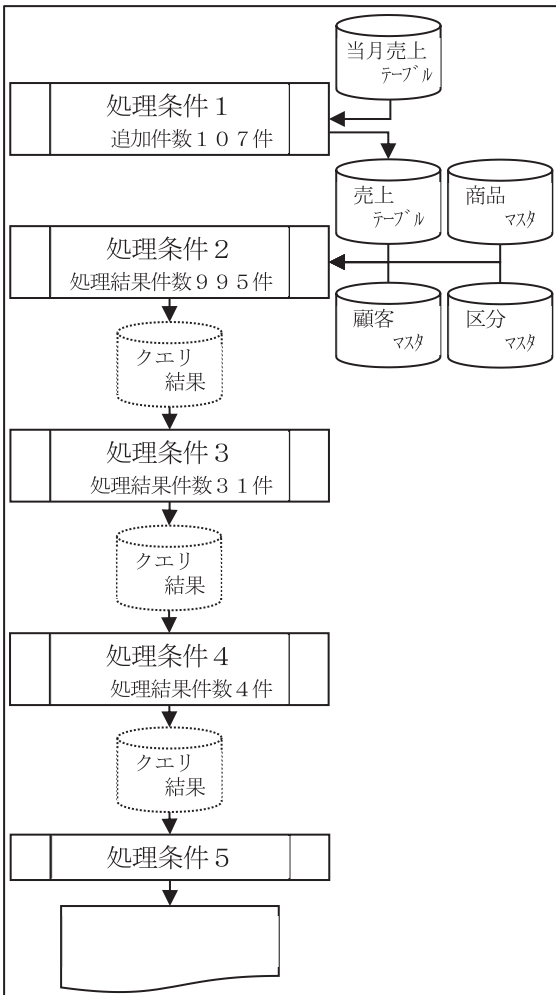
当月売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2021/11/5
○	商品CO	長整数型	103
	数量	長整数型	20

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2021/4/10
○	商品CO	長整数型	113
	数量	長整数型	30

<処理フロー>



<処理条件>

当月の売上を追加し、平均金額が6万円以上の顧客別売上一覧表を作成する。

- すべてのレコードを売上テーブルに追加する。
- 顧客CO・売上日・商品COごとに売上額を求める。
売上額＝単価×数量×（1－割引率）
- 顧客CO・顧客名と区分ごとに売上額を集計（合計）する。
- 顧客CO・顧客名ごとに平均金額を求める。
平均金額＝（ケーキ＋焼き菓子＋和菓子）÷3
平均金額が60,000以上を抽出する。
- 表を作成する。
表題は“顧客別売上一覧表（平均金額6万円以上）”とする。
データの並び順は平均金額の昇順とし、平均金額は整数未満四捨五入の表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

顧客別売上一覧表（平均金額6万円以上）

顧客CO	顧客名	ケーキ	焼き菓子	和菓子	平均金額
1024	タック	118,400	30,300	31,300	60,000
}					
1013	ハピネス	113,430	26,220	58,520	66,057